



4 多健保第 1813 号  
令和 4 年 12 月 15 日

多摩市国民健康保険運営協議会  
会長 下井直毅 殿

多摩市長 阿部裕行

### 多摩市国民健康保険の保険税率等の見直しについて（諮問）

このことについて、多摩市国民健康保険運営協議会規則（平成元年規則第 15 号）第 2 条に基づき諮問します。

#### 記

##### 1 諮問事項

令和 5 年度（2023 年度）多摩市国民健康保険の保険税率等の見直しについて、意見を求めます。

##### 2 諮問の趣旨

多摩市国民健康保険では、平成 30 年度（2018 年度）に策定した、「第 2 期多摩市国民健康保険の運営に関する指針」に掲げる原則対前年度 4%増の考え方に基づき、毎年保険税率等の見直しを行い、令和 3 年度の新型コロナウイルス感染症感染拡大による市民生活への影響を考慮し据え置きとした以外、社会情勢等も考慮しながら改定を行い、財政健全化に向けた取り組みを進めてきました。

国の「経済財政運営と改革の基本方針 2022」では、全世代型社会保障の構築として、給付と負担のバランスを確保しつつ若年期、壮中年期及び高齢期のそれぞれの世代で安心できるよう構築する必要がある、これまでの社会保障の構造を見直し能力に応じて皆が支え合うことを基本としながらそれぞれの人生のステージに応じて必要な保障をバランスよく確保する、その際給付と負担のバランスや現役世代の負担上昇の抑制を図りつつ保険料負担の在り方等各種保険制度における負担能力に応じた負担の在り方について総合的な検討を進めるとされています。また、引き続き国保財政健全化の観点から法定外繰入の早期解消も求められています。

今般、東京都から示された令和 5 年度国保事業費納付金仮算定結果では、1 人当たり医療費、後期高齢者支援金、介護納付金の増加に伴い、1 人当たり納付金額は 187,548 円、対前年比 5.9%増、激変緩和後の納付金総額は 47 億 6,085 万 3 千円、対前年比 2 億 6,450 万円、5.9%増となっており、想定を超えた伸び幅となっています。このことにより、令和 5 年度（2023 年度）当初予算では、法定外繰入が対前年度当初予算と比較し 30.7%増の約 15 億 2,500 万円が見込ま

れるなど、国保財政運営は厳しさを増し、一般会計に与える影響も大きいものとなっています。

他方、市民生活に目を向けると、新型コロナウイルス感染症の再拡大により、東京都では感染者が日に1万人を超える状況が続くなど、まだまだ収束の見通しが立たない中で、原材料価格上昇等による物価上昇や、実質賃金は減少が続くなど、先行きが不透明な厳しいものとなっています。

これら多摩市国民健康保険が置かれた現状や国の動向、税負担の公平性や法定外繰入による一般会計への影響、また、現下の社会情勢などを踏まえ、令和5年度（2023年度）の多摩市国民健康保険の保険税率等の見直しについてどのように考えるか、貴協議会の意見を求めます。